

》》》 何を目指しているの？

心理学や脳科学の知見を活かして、

子ども自らが自分の可能性を発見し、自信を高めながら、充実した人生を描き、様々な人々と協力し実現していくことを目指しています。



》》》 具体的にどのような力を向上できるの？



自己肯定感を 高めていくこと

子どもが自分自身の良さに気づき、自分の可能性を自然と感じられるようになるために



自己効力感を 高めていくこと

子どもが自分自身の成長を実感し、自分の将来に向けて前向きに歩めるようになるために



多様な仲間と 協働していくこと

仲間を助け、仲間に助けられ良好な関係の中で協働し、新しいコトやモノを生み出していくために

》》》 対象は？

児童生徒・PTA/保護者の方が対象。対象の方によりアプローチの仕方は異なります。



児童生徒の方
⇒ 子ども自身の視点で

※小学校5年生～高等学校3年生まで
保護者と一緒の場合は、小学校1年生～



PTA/保護者の方
⇒ 子育ての視点で

》》》 これからの社会と若者の心

社会構造の変化、AIの飛躍的進化等、先の見えない世の中になっていくと言われている。しかし、内閣府のデータによると、諸外国の若者と比べて、自分自身に満足していたり、自分に長所があると感じている者の割合が最も低い。また、うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組むにそう思うと答えた若者は50%ほどしかない。

(参考文献)内閣府."平成26年版子ども・若者白書(全体版)特集 今を生きる若者の意識～国際比較から見えてくるもの".2014,p79-80.
https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12927443/www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/h26honpen/pdf/tokushu_01_01.pdf
(参照 2023-12-13).